

講演とコンサート

伝説の第九と名合唱団によるクリスマス音楽集

2017年最後の締めくくりは、年末特別企画として、音楽・オーディオ界の第一人者、元フィリップス・レコード・オランダ本社副社長、新 忠篤氏をお招きし、「伝説の第九と名合唱団によるクリスマス音楽集」と題して、講演とコンサートを行います。

恒例となりました新氏の年末講演ですが、今回は師走にふさわしい「第九」と「クリスマス」をテーマに去り行く2017年のひとときを素敵な音楽で過ごして頂きたいと思えます。

第1部でご紹介する「第九」の指揮者オスカー・フリート(1871~1941)はベルリン生まれのドイツの指揮者。ユダヤ人で、自身社会主義者でもあったため、ナチスの迫害を避け、それまで度々訪れていたソビエトに1934年亡命しその地で没しました。電気吹き込み初期の1928年のこの録音は、ドイツ語歌唱による初の電気録音で、以前は電気録音による世界初録音の「第九」とされてきた(その後1926年英語歌唱による2種の録音の存在が判明)伝説的な演奏です。新氏は「約90年前のものだが、決して古さを感じさせない感動的な演奏」と評しています。第2部はアメリカの合唱指揮者ロジェ・ワーグナー(1914~1992)が1946年に結成した世界的な名合唱団、ロジェ・ワーグナー合唱団によるクリスマス音楽集です。今回はこのコンサート用に1956年のモノラル録音盤を氏自身が開発した「DSDイコライザー」を通したDSDレコーディング5.6MHzのハイレゾで作成した音源を使用、当会自慢の最上級オーディオ装置で心ゆくまでお楽しみください。

日 時：2017年12月9日(土) 午後2時~午後4時30分(休憩10分)

場 所：龍ヶ崎ショッピングセンター「リブラ竜ヶ崎」2階旧映画館

講 師：新 忠篤氏(オーディオ研究家、元フィリップスレコード・オランダ本社副社長)

テーマ：伝説の第九と名合唱団によるクリスマス音楽集

プログラム

第1部 オスカー・フリート 伝説の第九

ベートーヴェン：交響曲第9番二短調作品125「合唱付」から

オスカー・フリート指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団/ブルーノ・キッテル合唱団

ロッテ・レオナルト(ソプラノ)/イエニー・ゾネンベルク(コルトラウト)

オイゲン・トランスキー(テノール)/ヴィルヘルム・グットマン(バス) (1928年電気録音)

~~~~~ 休憩10分 ~~~~~

##### 第2部 ロジェ・ワーグナー合唱団 クリスマス音楽集

1. もろびとこぞりて

11. 牧ひと羊を

2. 聖しこの夜

12. 神のみ御子は今宵しも

3. 神の子は生まれた

13. アデステ・フィデレス

4. もろびと声をあげ

14. コヴェントリーのキャロル

5. 鐘のキャロル

15. クリスマスを歌おう

6. 主よやすらかに

16. ベツレヘムの小さな町で

7. 世の人を忘れるな

17. あめには栄え

8. ひいらぎ飾ろう

18. エサイの根より

9. 飼い葉桶で

19. 荒れ野の果てに

10. オー・ホーリー・ナイト

(1956年5月25日、6月5日、12日、22日&7月20日ハリウッド録音)